

IEI

◆◆ 東野便り ◆◆
HIGASHINO DAYORI03
学校法人
盈進学園 東野高等学校
総務部

7月3日 創立記念日に寄せて

東野高等学校 校長 北村 陽子

謹啓

初夏の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。さて、7月3日は東野高等学校にとって38回目の創立記念日になります。1984年7月3日が埼玉県私学審議会で設置承認の答申が出た日です。学校にとって創立記念日は誕生日です。今まで歴史をつくっていただいた多くの方々に感謝し、伝統を守り発展させることを、改めて決意する日であると考えたいと思います。

東野高等学校新設にあたっては下記のようなあいさつ文が出されたようです。

今、私たちは、新天地を求めて、ここ入間の地に学校をひらく。秩父の山々から広大にひろがる関東平野の一角である。

校名は、遠く万葉にみる床しの「東野」、東国の武蔵野の謂である。

この地に私たちは高らかに「人間教育」の旗を揚げる。

個性伸長の人間教育 - これがわが学園の基本原理である。

自分の個性を生かすことは、人間の基本的権利である。

「自主・自律・創造・発展・生徒一人ひとりの持てる力を最大限に発揮すること」

これが個性伸長の神髄である。

二十一世紀を展望した 視野広く斬新な教育 十代青春の かけがえのない個性の伸長

個人の尊厳を重んじ 真理と平和を希求する人間教育。

心ある方々の馳せ参じられんことを、心からお願い申し上げます。

98年前の盈進学園創立の意志を受け継ぎ、それまでの東京都武蔵野市から入間市に地を変え、新生東野高校を開校し38年が経ちます。今も変わらぬ建学の精神「知識は第一の宝・品行は最高之美・忍耐は無上の力」と創立者の理念である「人間教育」と「個性の尊重」を教育実践の根本に据え、応えていく学校を目指しています。

新型コロナウイルス感染拡大は、いまだに収束の見通しが立ちません。ロシアのウクライナ侵攻も収まらず、犠牲だけが拡大経過しているのが現状です。私たちは、この予測不可能な時代をどう生きていくべきかという難しい問題に直面していますが、今を大切に「やわらかい感性」を磨いていくことが大切ではないかと思います。「やわらかい感性」とは、自らの持つ許容範囲を少しずつ広げていくことではないでしょうか。それが【真理と平和を希求する人間教育】の礎になると考えます。

創立記念日の前日には、ひまわりの定植を実施します。ひまわりはウクライナとロシアの国花であり、生徒・教職員が、ひまわりを通じて『世界平和への祈りを一つに』との願いを込めます。品種は「サンフィニティ」と言い、8月頃から2か月間ほど咲き続けるようです。文化祭の一般公開はどうか未定の部分もありますが、保護者の方々には是非ご覧いただけたらと思っております。

皆様には、これまでも増して東野高等学校発展のためにお力添えいただけますようお願い申し上げます。

謹白

学校法人
盈進学園 東野高等学校〒358-8558 埼玉県入間市二本木112-1
Phone 04-2934-5292(代表) Fax 04-2934-4665EISHIN GAKUEN
SCHOOL FOUNDATION HIGASHINO HIGH SCHOOL112-1 Nihongi, Iruma City, Saitama Prefecture 358-8558 JAPAN
Phone +81-4-2934-5292 Fax +81-4-2934-4665